

2017年9月7日

第一生命保険株式会社



## RPAを全社業務へ導入開始

生産性向上・働き方改革の推進

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、生産性向上・働き方改革の推進に向けて、RPA (Robotic Process Automation)を全社業務への導入を開始します。

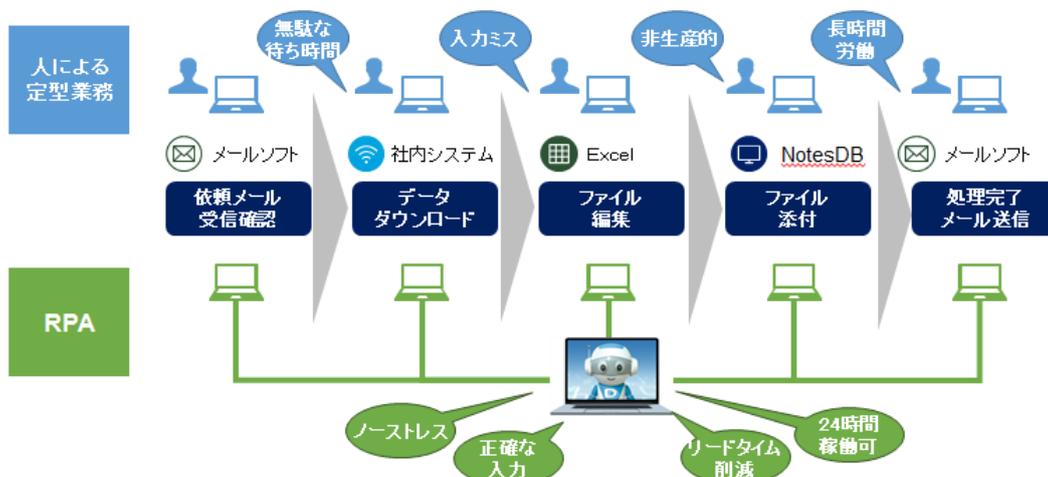
RPAは、これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業を代替して実行する技術として注目されています。当社では2016年10月より、デロイト・トーマツコンサルティング合同会社、アクセンチュア株式会社と共同でRPAの実証試験、当社システムへの適用、導入できる業務の分析などを実施し、個人保険事務の約20種類の業務で順次トライアル稼働を進めてきました。2017年10月からは保険関係事務に加え、マーケティング、総務・会計、資産運用にかかわる事務など、全社の様々な業務にRPA活用を広げ、生産性向上、働き方改革を推進します。

### <RPA (Robotic Process Automation) の特長>

- ・人がPCで実施している操作を代わりに実施 → 既存システム間の連携が可能
- ・複数のPCアプリケーションを操作可能 →
- ・24時間・365日稼働 → 連続作業・長時間稼働が可能
- ・大量処理が得意でミスをしない →



### <活用イメージ>



## <RPAを活用する業務(例)>

- ・支払査定関連業務(事務アンダーライティング分野)
- ・企業評価/モニタリングに関する資料作成業務(資産運用分野)
- ・業績等、内部管理資料作成業務(各分野)

## <導入するRPA製品>

グローバルで数多く採用され、高い評価を受けている以下2製品を導入します。



Automation Anywhere (本社:米国カリフォルニア州)



Blue Prism (本社:英国ロンドン)

RPAにより生産性の向上、働き方改革を推進することで、より付加価値の高い業務や、成長分野等にシフトすることが可能となります。また、今後は認知技術、機械学習などを含むAIや、複雑な条件でも最適な判断を行うルールエンジンを活用し、より高度な業務を代替することも検討していきます。

日本の少子高齢化に伴う急速な人口減少及び労働力の不足に対応する新たなデジタルワークフォースであるRPAの導入は、当社グループが2016年から取り組んでいるInsTech(※)の一環となります。当社グループは、今後もテクノロジーを積極的に活用し、生命保険事業のイノベーション創出に向けた取組みを進めていきます。

(※) 保険ビジネス(Insurance)とテクノロジー(Technology)の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組みを“InsTech”(インステック)と銘打ち、最優先の戦略課題としてグループ全体で推進しています。“InsTech”推進において、テクノロジーを活用したオペレーションの生産性向上は重要な戦略の一つです。

以上

## ■ エンドースメント

弊社(デロイト トーマツ コンサルティング)は、この度第一生命様が新たなワークフォースの導入ならびに働き方改革の実現に向けてRPAを活用した定型業務の自動化・効率化を本格展開されることを心より歓迎致します。

私たちはRPAの活用は単なる業務効率化に留まらない、経営戦略に基づくオペレーション/組織改革の入り口ととらえており、今回の取組みによってより付加価値の高い業務を担われる従業員の皆様が、高い志と創造性をもって第一生命様の戦略実現に寄与されるものと確信しております。また、当社の保険業界に関するグローバルの知見と様々なインダストリーにおけるデジタルテクノロジー活用の経験を活かし、第一生命様の掲げる“InsTech”推進を引き続きご支援させていただきます。

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社  
執行役員 金融事業統括 青木 計憲

弊社(アクセンチュア)は、RPA製品の選定ならびにRPAを適用できる業務の識別/検証を通して、第一生命様をご支援しました。ご支援内容には、各種検証以外にRPA活用による業務削減効果を試算するだけでなく、社内におけるRPA浸透の教材材料としてのデモ動画の作成が含まれております。

弊社は本RPAの取組みにとどまらず、第一生命様が推進されているInsTechを支えるパートナーとして、顧客体験と従業員満足度を向上する新技術を活用した業務変革を引き続きご支援致します。

アクセンチュア株式会社  
テクノロジー コンサルティング本部 テクノロジーアーキテクチャ グループ マネジング・ディレクター  
山根 圭輔